

和歌山信愛中高 図書館だより 第3号 (2026.10.2発行)

新しい本紹介

秋らしく、過ごしやすい季節になってきました。体育祭や芸術鑑賞会、校外学習など、秋は行事も色々あって楽しみですね。さて、図書館には新しい本がたくさん入荷しています。時間のあるときはぜひ寄り道してみてくださいね♪

『地図はない、目的地もない、でも迷子ではない』

篠原かをり/著 NHK出版/刊



作家で文化昆虫学者の著者。博識でしっかり者に見えるが、小学校時代は不登校を経験し、不器用な自分にコンプレックスを感じていたという。そんな彼女が好きなことを追求する今の自分にたどりつくまでの日々を書いたエッセイ。自分らしさを探す人の背中を押してくれる本。

『ハンディ版 それ犯罪かもしれない図鑑』

小島洋祐/監修 金の星社/刊



子どものちょっとした行動が、犯罪になるかも!?よくあるシーンを弁護士がわかりやすく解説!ただし、小豆だるま氏のおもしろカラーイラスト付き!子どもこそ知っておきたい、まじめで楽しい法律入門。

『物が全てを教えてくれる 日本初の女性化学者・黒田千カ』 伊多波碧/著 徳間書店/刊



日本ではじめて帝国大学生となった女性・黒田千カ。彼女の研究は現代の私たちの健康を支えている。女性が大学に行くことが異例だった大正時代に、どのようにして彼女は学び、挑戦を続けたのか。彼女の熱意と勇気に力をもらえる物語。

『ミント邸で夜の茶会を』 斎藤千輪/著 ポプラ社/刊



海沿いの街にあるオシャレな洋館で、週末だけ開かれるティーサロン。紅茶占いでお客の悩みに寄り添うマダムの琴葉。絶品スイーツをふるまう義理の息子でパティシエの壮馬。実はふたりがサロンを開くのには理由があつて…。おいしいものに癒される連作ミステリー。

期間限定

ミステリー 小説特集!



『方舟』
タ木春央/著
講談社/刊



ミステリー小説とは、事件や謎を解決していく物語。一度は読みたい古典的名作から、今話題の新作まで、ミステリーファンの期待を裏切らないおすすめを集めました!

『容疑者Xの献身』
東野圭吾/著
文藝春秋/刊



『謎の香りはパン屋から』
土屋うさぎ/著
宝島社/刊



『硝子の塔の殺人』
知念実希人/著
実業之日本社/刊



『ザリガニの鳴くところ』
ディーリア・オーエンズ/著
友廣純/訳 早川書房/刊

リクエストで買った本

みなさんからたくさんのリクエストがありました!そのうちの一部をご紹介します!

『私たちはたしかに光ってたんだ』 金子玲介/著 文藝春秋/刊

『ゾンビ回収婦』 小砂川チト/著 講談社/刊

『満月の夜に君を見つける』 冬野夜空/著 スターツ出版/刊

『くまのプーさん ささやかだけど 大切にすること』 キャサリン・ハプカ/著 海老根祐子/訳 講談社/刊

『小説 仮面ライダーファイズ』 井上敏樹/著 講談社キャラクター文庫/刊

リクエスト
募集中